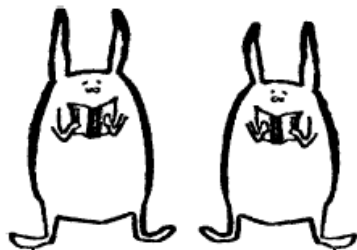


コミタイ!をくすぐる

図書館発 ライブラリーマガジン

立正 ほんずさみ

一巻二号



© 少納言

二〇一七



ほんずさみ
What's 本遊?

【本遊】とは、

歌を口ずさむように、
本に親しみ、本と遊んでほしい
という願いを込めて付けました



立正本遊 りっしょうほんずさみ

1巻2号

平成23年7月15日発行
編集・発行 立正大学情報メディアセンター
大崎学術情報サービス課
〒141-8602 東京都品川区大崎4-2-16
TEL: 03-3492-6615
HP: <http://www.ris.ac.jp/library/>

図書館 展示スケジュール (場所:情報メディアセンター1階展示コーナー)



★7/18(月)~25(月) & 8/20(土)~26(金) オープンキャンパス貴重書展
★10/17(月)・18(火) 企画展&伊藤大郎氏(品川匠伝統工芸師)による
摺り実演・体験教室



仕事と仕事の隙間で「心が萎える」ことがある。先日、心の憂さや虚しさを多少でも払いのけたく、アニメーション映画「ブグダ」を見に行った。しかし逆に手塚治虫の世界観の前で、人間は「生老病死」を背負った存在であり、今後とも人間的交流（本や映像等を含め）を通して答えのない人間探求の道を歩まざるをえないことを、改めて教えられた。
(K. Yamazaki)

とよかんのたからもの

part2 『尾形至写図』10枚



幕末黒田藩（福岡）の絵師尾形至自筆の古地図が、纏って出ているという。

6月のある雨の日、神保町の蔵の寝床のような古書店を二人で訪ねた。

前もって店の主に連絡しておいたので、挨拶もそこそこに資料2種の確認を開始。所狭しと書物が並んだ薄暗い店の奥の机は、古地図を広げるには小さすぎる。傷めては大変と畳んである古写図を1枚1枚慎重に開き、丹念に見ていった。

折り畳んだ表には揃いの表紙が付され、薄葉の書き題箋が貼られている。折り目に少々汚れが

きているが虫損はなく、全10点、面白い。出島あり、ロシア船あり、砲台ありで、幕末の緊迫した雰囲気と新しい文化の息吹が伝わってくる。これならきつと興味深く見てもらえるし、一次資料としての価値もあると考える。

ここでもう一点、同時代の『アメリカ船浦買入港資料』の確認に入った。こちらは、やや黄ばんだ画仙紙にスケッチ風の写図と文書14枚が糊付けされていた。統一性が無く、筆致が雑で、精彩が無い。何よりも原資料としての迫力が乏しく、写した年代にも不安が残る。大学図書館の蔵書としては、疑問符が付きそうだ。

選定は真剣勝負である。迷わず前者に決め、良い資料に出会えた喜びを胸に、店を出た。



図書館を探検しよう！

第2回 自動貸出機 (ABC) ってなに？

このコーナーでは、図書館の施設設備やフロア、資料などについて、一緒に探検してみましょう。今回は、自動貸出機 (ABC) の使い方と、社会科学分野の気になる図書を紹介いたします！

■自動貸出機 (ABC) とは

自動貸出機 (ABC=Automatic Book Circulation) とは、図書の貸出を行うことができる装置です。1FとB1に各1台あり、1FとB1の図書はカウンターが混んでいるときなど、学生証があれば自動貸出機の画面に沿って誰でも簡単に一人で貸出が行えます。レシートには、書名と返却期限日が書かれていますので、忘れず持ち帰ってください。返却期限日は守りましょう！

■使い方

- ①貸出ボタンを押します。
- ②学生証をタッチします。
- ③図書を置きます。ガタンッという音がしたら図書を取ります。2冊以上ある場合、同じ作業を繰り返し行います。
- ④終ボタンを押します。
- ⑤レシートを取ります。



■配置場所「大崎1F図書」とは

今回は図書館1Fの「大崎1F図書」を紹介いたします。入館してすぐ目の前には閲覧席、その左手側には、社会科学分野の図書が配架されています。政治、法律、経済、経営、財政、社会、教育、民俗学、軍事…などの分野が網羅されています。経済学部、経営学部の方はレポートや課題などでよく使う場所です。教育実習の参考資料なども探せます。



■資料紹介「大崎1F図書」より

『お仕事のマナーとコツ』

西出博子監修、伊藤美樹絵



タイトル通り、仕事をしていく上で必要なマナーや、職場の上司や同僚との付き合いで押さえておくべきコツが味のある挿絵とともに説明されています。就活を行う時、内定後の会社の人たちとの付き合いにもためになります！

338.49

0-76

『「あまり人とかわりたくない」人のための心理学』

齋藤美著



今年4月新設の対人・社会心理学齋藤美先生の著書です。人付き合いが苦手、でも今のままじゃダメだ…そんな方へ一歩踏み出すきっかけの1冊に。自分の気持ちを心理学の様々なタイプや具体的実験結果を交えて説明してくれています。

361.4

Sa25



お仕事見学記 in 図書館

part2 選書のお仕事



Q 選書とはどのようなお仕事のことですか？

A 自館の特性や収集方針を考慮しながら、図書館に置く資料（図書、CD、DVDなど）を選ぶことです。立正大学の図書館では、主に設置されている学部・学科に関連した資料を選んでいきます。



Q どのように、新しく出た本の情報などを入手しているのですか？

A 新聞の広告や書評、選書の専門ツール『週刊読書人』『図書館新聞』『ウィークリー出版情報』、『出版ニューズ』等のほか、各出版社のHPもチェックします。書店の新刊コーナーで手に取って見るともあります。



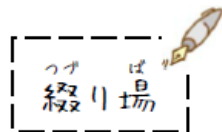
Q 選書をするにあたって気をつけていることは何ですか？

A 公共図書館にはない記念論文集や専門資料、各大学の刊行物、品切れ、絶版になりやすいものなどは定期的にチェックを行い、手に入れる努力をしています。時代のニーズに合ったテーマのもの（現在では東日本大震災関連の“地震”、“原発”などについての資料）もピックアップしています。また、利用者の方との日々の対応の中からもニーズを探るよう心がけています。



選書業務の強～い味方☆
これらのツールで新刊情報をチェックします！

図書館に置く資料を選んだら書店へ発注します。
毎日続々と発注した資料が図書館に届きます。



今回も好きに綴ります。
3番目は今春就任の新課長より

私が学生の頃、図書館情報学の授業では紙テープにポツポツと言語(COBI)を打ち込み、レコード盤ぐらいの大きさのリールに巻き取ったの。電算機室は二重の引戸でスリッパに履き替えて入り、室内は常に肌寒い。私は非人間的なこの空間が大嫌いだった。
今はOPAC検索なるもので家に居ながら所蔵の確認ができ、この検索データを入力するのも私たち図書館員の仕事のひとつになっている。こんなことから、時を重ねるといことは変化を受け入れ新しい仕事と二なることであると実感する。図書館が「継往開来」の場、「過去のもを受け継ぎ、それを発展させながら将来を開拓していく場」であり続けるように、パソコンがあって当たり前前の世代の仲間と一緒に、一歩一歩進んでいきたいと考える今日この頃である。

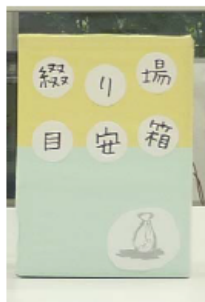


© 少納吉

図書館では、皆さんからの疑問・質問・要望を募集しています。
情報メディアセンター 1F エントランスカテゴリー机上の目録箱まで
お寄せください。

ここにあります。

↓受付用紙



綴り場
～読書・質問・受付用紙～
図書館では、皆さんの疑問・質問・要望を募集しています。
目録箱までお寄せください。
寄せられた質問には、コピーライターマヤさん(右図)の中の「綴り場」でお答えします。

お持ちしています!!



寄せられたご意見には、綴り場でお答えします。
お待ちしております!!

■自動貸出機です



活動報告 (その1)

図書館で主催している講習会・ツアーや他部署との連携について報告します。

◎大好評のうちに春期情報検索講習会・各種ツアーは終了!

今年度、大崎図書館では春の情報検索講習会・各種ツアーのコースを例年より増やしました。先生方には講習会やツアーへの参加をお願いさせていただき、プロモーション活動に力をいれたところ、延べ500名を超える多数の皆様にご利用いただくことができました。どうもありがとうございました。

今回、ご協力いただいたアンケート結果や個別にいただいたご意見を参考に、秋の情報検索講習会とツアーは更に充実させていきたいと思っておりますので、どうぞご期待ください!



←図書館ツアーでは、「どんなものが置いてあるかわかったので、本を利用しやすくなる」、「普段見られない地下の書庫が見られた」といったご意見が多数寄せられました。

↓情報検索講習会では沢山の方々に実際にデータベースの検索をしてもらい、必要な情報や取得方法を知ってもらいました。



↑古書ツアーでは、「授業で学んだものを実際にさわることができた」、「古書をもっと詳しく見たい」、「ちりめん本がかわいいです」といったご意見が寄せられました。写真上は書庫での説明。写真下は2階グループ閲覧室Eでの古書の实物を説明、手にとって見てもらいました。



活動報告 (その2)

図書館で主催している講習会・ツアーや他部署との連携について報告します。



◎新入生ガイダンスやキャリアアワーに参加。トータルで情報収集できる「知の集積地」であるメディアセンターの有用性がますます認知されています!

今年度は新入生ガイダンスに参加し、メディアセンターの利用方法やメディアセンターでどのようなサービスを提供しているかということをお知らせする機会を持つことができました。また、3年生に向けては、就職活動のための時間(キャリアアワー)で、「情報収集法」という講義を行わせていただきました。これらの活動は学生の方々にメディアセンターをもっと有効に活用していただくという方針のもと、行われています。カウンター担当からは「前年度に比べてメディアセンターの入退館の際にきちんとカードをかざしてくれているので、エラーになる回数が少なくなっている」といった話も聞かれます。また、データベースの利用が劇的に伸びていることも確認されています。本学の教育ビジョンである「モラリスト×エキスパート」を育むということは、このようなちょっとしたところから始まっているものだと思います。



↑新入生を対象としたガイダンスではメディアセンターの端末や複合機の効果的な利用方法の説明などはもとより、図書館内での図書、雑誌、新聞といった資料の利用できる場所の説明や図書館で所蔵している貴重書(テレビでも紹介されました!)の紹介や、カウンターでの業務以外で行っている図書館の仕事の一部を紹介しました。



↑3年生を対象としたキャリアアワーでは「就職活動における情報収集法」というテーマで、普段の生活からの延長線上で就職先を選ぶことをしないよという点と、なかなか見つけられない「働く」ことをイメージしたニュースや情報をどういったメディアから最初は取得していくといいのかといったことを説明しました。

～参加者数一覧～

ガイダンス	618名
キャリアアワー	704名
図書館ツアー・古書ツアー	317名
各種講習会	219名
合計	1858名

